

◇—————◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011.7.14

下水道機構の『新技術情報』 第4号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇—————◇

先日、朱鷺色の美しい夕焼けを見ました。あっそろそろ明けるな。と思っていると案の定、梅雨明け宣言！湿った重い空気を抱えて今にも落ちてきそうだった空も、一気に軽やかになってきました。五感を使って季節を感じるのも良い気分転換になりますね。

それでは、今週も『新技術情報』第4号をお届けします。

業務に、気分転換にどうぞご利用ください。

～トピックス～

☆インフォメーション

- ・平成 23 年度第 1 回水処理新技術実用化評価委員会（機構特別会議室、主な議題昨年度からの継続案件：2 件、新規案件：1 件の合計 3 案件についての技術の審議）が開催されました
- ・平成 23 年度建設技術審査証明「エバシート工法（下水道マンホール修繕工法）」交付式が開催されました
- ・「下水道展'11 東京」への出展(パブリックブース)及び下水道研究発表会での発表（14 編）を行います。

☆機構の動き

- ・今週は第 295 回技術サロン（7 月 14 日(木)17:30～19:00@機構 8F 会議室）が開催されます

講師：群馬大学大学院教授 片田敏孝、テーマ 「東日本大震災に学ぶこれからの防災のあり方～今求められる命を守るための防災への転換～」

☆Tea Break

- ・「下町プラプラ歩き」（研究第一部 多田さんの投稿です）

☆みなさまからのコラム・皆様からの情報を募集しています！

.....
インフォメーション (最新の話題です)
.....

○7月7日に平成23年度の第1回水処理新技術実用化評価委員会が機構特別会議室で開催され、昨年度からの継続案件：2件、新規案件：1件の合計3案件について技術の審議が行われました。

継続案件として、まず、福岡市との共同研究である「NADHセンサーを用いた風量制御による窒素除去法に関する実用化研究」について審議が行われました。本研究では、東部水処理センターにおいて平成23年12月～平成24年12月の期間で実証運転を行う予定であり、現在、馴致・設置調整運転を行っていることが報告されました。設備の運転方法や水質の評価項目等の内容について確認と審議が行われ、実証実験を進めることが了承されました。この実験内容については、8月の技術委員会で報告する予定です。

次に、川崎市との共同研究である「川崎市等々力水処理センター高度処理技術（担体利用酸素循環式硝化脱窒法+脱窒ろ過法）に関する評価」について審議が行われました。本研究では、等々力水処理センターにおいて平成22年6月末～平成23年6月末の期間でパイロットプラントを利用した実証実験を行った結果を報告しました。処理水質（BOD、COD、T-N、T-P）が計画放流水質を満足していること等を報告し、審議の結果、最終報告書および性能評価書をまとめることになりました。その内容は、8月の技術委員会で審議されることとなります。

また、新規案件として、東京都との共同研究として「自然吐口に適応可能な新たな合流改善技術の開発」の審議が行われました。これは、自然吐口に適応可能で貯留施設と同等の効果が見込める新たな合流改善技術の開発を研究目的とし、平成23～24年度に実用化研究を、平成25～26年度に性能評価研究を行う予定であることを報告しました。審議の結果、新規性有りと判断され、8月の技術委員会で最終確認を行うこととなります。

○平成23年6月24日の平成23年度第1回建設技術審査証明委員会において答申されたエバート工法（下水道マンホール修繕工法）について、7月7日（木）、機構の理事長室にて、審査証明書を交付しました。本技術は老朽化したマンホールの修繕工法で、FRPシートを、機質系グラウトを介して躯体コンクリートに固着させ、マンホール内面の修繕を行うとともに、マンホール内面に防食性を持たせる技術です。老朽化したマンホールのほかに、硫化水素の発生の恐れのある腐食環境下のマンホールに対して施工することが可能です。

建設技術審査証明事業は、新たに開発された建設技術を公正に客観的に評価・認定し、建設事業への円滑な導入を図るもので、下水道機構では国土交通省所管の下水道事業に係

わる下水道技術を審査証明の対象としています。下水道機構では、近年、ますます需要が高まりつつある下水道技術の審査証明事業について、その申請の受付から審査の実施、審査証明完了後のフォローアップに至るまでをトータルなシステムとして、さらなるサービスの拡充を図っていきます。今後とも時代のニーズに対応した様々な下水道技術が開発され、下水道の整備・運営が効率的に行なわれるよう官と民との「新技術の橋わたし」に尽力してまいりますので、「建設技術審査証明事業（下水道技術）」のさらなる活用をお願いいたします。

○7月26日(火)～29日(金)に日本下水道協会主催の「下水道展'11東京」に出展(パブリックブース)し、研究成果等を含む機構の事業と主な活動について、パネル展示、液晶ディスプレイで紹介、図書・パンフレット等の配布を行ないます。

今年の主な展示内容は下記のとおりです。

- ・浸水被害軽減総合計画の策定
- ・浸水対策の推進(水理模型実験)
- ・降雨予測情報を用いたリアルタイム雨水情報ネットワーク
- ・プラスチック製雨水地下貯留浸透施設
- ・プレキャスト式雨水地下貯留施設
- ・下水道処理施設及び雨水ポンプ所ネットワーク計画の策定
- ・下水道BCPの策定支援
- ・下水処理場での複合バイオマス受け入れ
- ・下水処理場におけるバイオマス発電の導入
- ・水熱処理を用いた下水汚泥エネルギー転換及び減量化技術
- ・膜処理技術導入検討
- ・高寿命化計画策定
- ・管路施設の総合管理(ストックマネジメント)
- ・効率的な下水道整備(クイックプロジェクト)
- ・処理場施設の合成木材製覆蓋更新
- ・ディスプレイ導入検討
- ・ホームページの改訂(Web登録のご案内)
- ・審査証明を交付した技術
- ・震災関連(機構の調査・支援活動、公衆衛生の確保、全面的な液状化による被害調査、地震対策技術の導入支援、エネルギー対策の導入支援など)

下水道技術についての相談コーナーも設けておりますので、この機会にぜひご活用ください。また、共催される下水道研究発表会では、昨年度の研究成果について14編の発表

を行います。下水道展は、下水道界以外の方に、「下水道の価値」を知ってもらうことも目的としています。パブリックゾーンではお子様向けに「水と食べ物のリレー」を切り口としたストーリーに沿ってブースを回るクイズラリーなどがあります。ぜひご家族、お友達などと一緒に。ご来場お待ちしております。

『下水道展 '11 東京』 ホームページはこちら→www.gesuidouten.jp/

機構の動き (機構の行事予定です)

◎7月14日(木)17:30～19:00

第295回技術サロン(機構8F会議室) 講師;群馬大学大学院教授 片田敏孝、テーマ「東日本大震災に学ぶこれから の防災のあり方～今求められる命を守るための防災への転換～」

◎7月15日(金)15:30～17:00

平成23年度第1回新技術設計手法等共同研究委員会(機構8階会議室)(主な議題「リスク管理を考慮した監視システムに関する共同研究の審議」)

○7月20日(水)15:00～17:30

平成23年度第1回管路技術共同研究委員会(機構特別会議室)(主な議題「衝撃弾性波法による管路診断技術に関する共同研究及び下水道マンホールふたの調査・診断・更新に関する共同研究の審議」)

○7月26日(火)～7月29日(金)

下水道展への出展(パブリックブース)及び下水道研究発表会での発表(14編)

『下水道展 '11 東京』 ホームページはこちら→ www.gesuidouten.jp/

Tea Break (機構職員の感じるまま)

○下町プラブラ歩き (研究第一部 多田)

毎日暑い日が続き、いよいよ夏本番となってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。職場が変わった方も少し職場に慣れてきた頃かと思います。私は、4月から機構へまいりました。よろしく願いいたします。早いもので3箇月が過ぎてしまいました。4

月1日（金）に出社し、4日の月曜日には出張と、その日の業務に追われる日が続き、まだ仕事に慣れないこともあり、ただただ夢中で3箇月が過ぎてしまいました。

最近は、出張にも、ここ江戸川橋の雰囲気にもなれ、6月に放送された「アド街ック天国」で取り上げられたお店などを探検しようかと、余裕も少しだけ出てきました。江戸川橋界隈を歩くと昔からの雰囲気を味わえます。まだご案内はできませんが、地藏通り商店街や神楽坂近辺の雰囲気を味わうのも良いかと思ます。ここ機構へお越しの際は、ぜひプラプラと歩いてみてください。

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

○掲載情報募集中！

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則400字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが

、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○

発行元：財団法人 下水道新技术推進機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○